

## 平成 18 年度 2 級管工事学科試験問題

次の注意をよく読んでから始めてください。

## 【注 意】

1. これは学科試験問題です。表紙とも 12 枚 52 問題あります。
2. 解答用紙（マークシート）に間違いのないように、試験地、氏名、受験番号を記入するとともに受験番号の数字をぬりつぶしてください。
3. 問題 No. 1 から No. 6 までの 6 問題は必須問題です。全問題を解答してください。  
問題 No. 7 から No.23 までの 17 問題のうちから 9 問題を選択し、解答してください。  
問題 No.24 から No.28 までの 5 問題は必須問題です。全問題を解答してください。  
問題 No.29 から No.42 までの 14 問題のうちから 12 問題を選択し、解答してください。  
問題 No.43 から No.52 までの 10 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。  
以上の結果、全部で 40 問題を解答することになります。
4. 選択問題は、指定数を超えて解答した場合、減点となりますから十分注意してください。
5. 解答は別の 解答用紙（マークシート）に HB の鉛筆又はシャープペンシル（HB の芯使用）で記入してください。（万年筆、ボールペンの使用は不可）

解答用紙は	問題番号	解答記入欄			
	No. 1	①	②	③	④
	No. 2	①	②	③	④
	No. 10	①	②	③	④

となっていますから、

当該問題番号の解答記入欄の正解と思う数字を一つぬりつぶしてください。

解答のぬりつぶし方は、解答用紙のぬりつぶし例を参照してください。

なお、正解は 1 問について一つしかないので、二つ以上ぬりつぶすと正解としません。

6. 解答を訂正する場合は、プラスチック消しゴムできれいに消してから訂正してください。  
消し方が不十分の場合は、二つ以上解答したことになり、正解としません。
7. 問題用紙の余白は、計算等に使用して差し支えありません。

ただし、解答用紙（マークシート）は計算等に使用しないでください。

8. この試験問題は、試験終了時刻（12 時 40 分）まで在席した方のうち、希望者に限り持ち帰りを認めます。途中退室した場合は、持ち帰りできません。なお、解答用紙はいかなる場合でも持ち帰りはできません。

## 必 須 問 題

問題 No. 1 から No. 6 までの 6 問題は必須問題です。全問題を解答してください。

【No. 1】 気象に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) クリモグラフからは、季節による各地域における気候の特色の相異を知ることができる。
- (2) 相対湿度は、湿り空気に含まれる水蒸気の分圧と、その空気温度における飽和水蒸気分圧との比である。
- (3) 可視線の波長は、紫外線の波長より長く、赤外線の波長よりも短い。
- (4) 夏季は、大気に含まれる水蒸気量が多くなるため、大気透過率は冬季よりも大きくなる。

【No. 2】 水に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

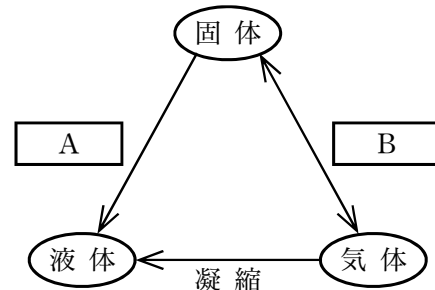
- (1) 1 気圧における水の沸点は  $100^{\circ}\text{C}$  で、その蒸発潜熱は約  $640\text{ kJ/kg}$  である。
- (2) 1 気圧における水の凝固点は  $0^{\circ}\text{C}$  で、その凝固熱は約  $330\text{ kJ/kg}$  である。
- (3) 1 気圧のもとで水が氷になると、その容積は約 10% 増加する。
- (4) 1 気圧のもとで水の温度を  $1^{\circ}\text{C}$  上昇させるために必要な熱量は、約  $4.2\text{ kJ/kg}$  である。

【No. 3】 流体に関する用語の組合せのうち、**最も関係の少ないもの**はどれか。

- (1) 摩擦応力 —— 粘性係数
- (2) 表面張力 —— 毛管現象
- (3) 圧力損失 —— 管摩擦係数
- (4) 水撃現象 —— レイノルズ数

【No. 4】 固体、液体及び気体の相変化に関する図中、 内に当てはまる用語の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- | (A)     | (B) |
|---------|-----|
| (1) 蒸 発 | 昇 華 |
| (2) 蒸 発 | 凝 固 |
| (3) 融 解 | 昇 華 |
| (4) 融 解 | 凝 固 |



【No. 5】 電動機回路の保護と保護用機器の組合せのうち、**適当でないもの**はどれか。

- | (回路の保護)   | (保護用機器)  |
|-----------|----------|
| (1) 短絡保護  | 配線用遮断器   |
| (2) 地絡保護  | 漏電遮断器    |
| (3) 過負荷保護 | 電磁開閉器    |
| (4) 欠相保護  | 進相コンデンサー |

【No. 6】 建築物における鉄筋コンクリート構造に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 鉄筋コンクリート構造は、一般に、柱や梁を剛接合するラーメン構造が多い。
- (2) 丸鋼は、異形鉄筋よりもコンクリートの付着性がよい。
- (3) あばら筋は、梁のせん断力に対する補強筋である。
- (4) コンクリートがアルカリ性を失って中性化すると、鉄筋が腐食しやすくなる。

## 選 択 問 題

問題 No. 7から No.23 までの 17 問題のうちから 9 問題を選択し、解答してください。

【No. 7】 冷房負荷計算において、「実効温度差」を用いて算出する負荷として、**適当なもの**はどれか。

- (1) 窓ガラスからの負荷
- (2) 外気による負荷
- (3) 構造体からの負荷
- (4) 照明による負荷

【No. 8】 空気調和方式に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 変風量単一ダクト方式では、空気調和機のファンの送風量を制御する。
- (2) ファンコイルユニット方式は、高度の空気処理が可能である。
- (3) マルチパッケージ形空気調和機方式では、1 台の屋外機に対して、複数台の屋内機が冷媒管で結ばれる。
- (4) 定風量単一ダクト方式は、同一系統に熱負荷特性の異なる室がある場合には適さない。

【No. 9】 ろ過式エアフィルターのろ材の特性として、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 難燃性又は不燃性であること。
- (2) 吸湿性の高いこと。
- (3) 空気抵抗の小さいこと。
- (4) 粉じん保持容量の大きいこと。

【No.10】 コールドドラフトの防止に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 窓面からの熱損失を減らすために、二重ガラスを使用する。
- (2) 屋外から侵入するすき間風を減らすために、建物構造を気密にする。
- (3) 放熱器を、負荷の多い窓側に配置して対流効果を上げる。
- (4) 自然対流形の放熱器では、放熱器の表面温度を高くし、室温との差を大きくとる。

【No.11】 水冷式往復動冷凍機と直だき吸収冷温水機の冷房運転時の特徴を比較した記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 水冷式往復動冷凍機のほうが、一般に、立上り時間が長い。
- (2) 水冷式往復動冷凍機のほうが、低い冷水温度を得やすい。
- (3) 直だき吸収冷温水機のほうが、一般に、振動・騒音が小さい。
- (4) 直だき吸収冷温水機のほうが、電力の消費量が小さい。

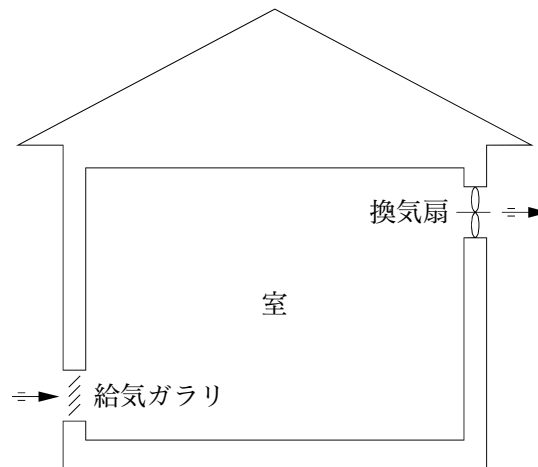
【No.12】 換気設備に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 厨房の換気に、第1種機械換気を採用した。
- (2) 喫煙室の換気に、第2種機械換気を採用した。
- (3) ボイラー室の換気に、第2種機械換気を採用した。
- (4) 浴室の換気に、第3種機械換気を採用した。

【No. 13】 図に示すような室を換気扇で換気する場合、給気ガラの最小寸法として、**適当なもの**はどれか。

ただし、換気扇の風量  $200 \text{ m}^3/\text{h}$ 、ガラの有効開口面風速  $3 \text{ m/s}$ 、ガラの有効開口率  $50\%$  とする。

- (1)  $100 \text{ mm} \times 100 \text{ mm}$
- (2)  $200 \text{ mm} \times 200 \text{ mm}$
- (3)  $300 \text{ mm} \times 300 \text{ mm}$
- (4)  $400 \text{ mm} \times 400 \text{ mm}$



【No. 14】 機械排煙設備に関する記述のうち、「建築基準法」上、**適当でないもの**はどれか。

ただし、本設備は、「階及び全館避難安全検証法」及び「特殊な構造」によらないものとする。

- (1) 排煙口及び排煙ダクトは、難燃材料で造る。
- (2) 排煙口には、手動開放装置を設ける。
- (3) 排煙機は、排煙口の開放に伴い自動的に作動するようにする。
- (4) 排煙機への電源供給には、原則として、予備電源を設ける。

【No.15】 水道事業者が行う衛生上の措置に関する文中、 内に当てはまる、「水道法」上に定められている数値の組合せとして、正しいものはどれか。

給水栓における水が、遊離残留塩素を A mg/L（結合残留塩素の場合は B mg/L）以上保持するように塩素消毒をすること。ただし、供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合等を除く。

- |     | (A) | (B)  |
|-----|-----|------|
| (1) | 0.1 | 0.05 |
| (2) | 0.1 | 0.4  |
| (3) | 0.2 | 0.1  |
| (4) | 0.2 | 0.8  |

【No.16】 地表面の勾配が急な敷地において、下水道管渠の勾配を適切に保持するための接合として、**適当なもの**はどれか。

- (1) 管頂接合
- (2) 管底接合
- (3) 管中心接合
- (4) 段差接合

【No.17】 給水設備に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) FRP製タンク（水槽）と配管との接続には、配管の変位による荷重が直接槽にかからないようにフレキシブルジョイントを設ける。
- (2) 逆サイホン作用とは、水受け容器中に吐き出された水等が、給水管内に生じた負圧による吸引作用のため、給水管内に逆流する現象をいう。
- (3) 大気圧式バキュームブレーカーは、常時水圧のかかっている配管に設ける。
- (4) ウォーターハンマーを防止するためには、管内流速を小さくする。

【No.18】 給湯設備に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 給湯の使用温度は、一般に、湯茶用で 90℃ 程度、洗面用で 40℃ 程度である。
- (2) シャワー用水栓は、熱傷の危険を避けるため、一般に、サーモスタット付き湯水混合水栓を使用する。
- (3) 開放式膨張タンクの設置位置は、給湯配管系の最も高い位置に設ける。
- (4) 逃し管は、貯湯タンクなどから単独で立ち上げ、保守用の仕切弁を設ける。

【No.19】 次の器具・機器からの排水のうち、**間接排水としなくてもよいもの**はどれか。

- (1) 家庭用台所流しの排水
- (2) ルームクーラーのドレン水
- (3) 飲料用水槽のオーバーフロー水
- (4) 洗濯機の排水

【No.20】 排水設備の通気管に関する文中、 内に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

ループ通気管とは、2 個以上の器具トラップを保護するため、最上流の器具排水管が排水横枝管に接続した点のすぐ A から立ち上げて、B 又は、伸頂通気管に接続するまでの通気管をいう。

(A)                      (B)

- (1) 上流 ——— 通気立て管
- (2) 上流 ——— 排水立て管
- (3) 下流 ——— 通気立て管
- (4) 下流 ——— 排水立て管



【No. 21】 屋内消火栓設備に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 屋内消火栓設備は、火災を初期段階で消火することを目的としている。
- (2) 加圧送水装置には、高架水槽方式、圧力水槽方式、ポンプ方式の3種類がある。
- (3) 屋内消火栓設備には、非常電源を附置する。
- (4) 防火区画された階段室は、屋内消火栓の警戒区域外とすることができる。

【No. 22】 液化石油ガス（LPG）設備に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) LPGは、比重が空気より小さいため、空気中に漏えいすると拡散しやすい。
- (2) LPGは、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」では、「い号」、「ろ号」、「は号」に区分されており、実際に流通しているものは「い号」が多い。
- (3) LPGの一般家庭向け供給方式には、戸別供給方式と集団供給方式がある。
- (4) LPGは、調整器により2.8kPa程度に減圧して供給される。

【No. 23】 FRP製浄化槽の施工に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 地下水位による槽の浮上防止対策として、槽の周囲に山砂を入れ突き固めて水締めを行う。
- (2) 漏水検査は、槽を満水にして、24時間以上漏水しないことを確認する。
- (3) 掘削深度が深過ぎた場合、捨てコンクリートで深度を調整する。
- (4) 槽を車庫等の下に設置する場合、槽に過大な荷重がかからないように、鉄筋コンクリート製のボックスを設け、その中に槽を設置する。

## 必 須 問 題

問題 No.24 から No.28 までの 5 問題は必須問題です。全問題を解答してください。

【No. 24】 設備機器に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 自動巻取形エアフィルターは、一般空調のやや粗大な粉じんの除去に使用される。
- (2) 渦巻ポンプの軸動力は、吐出し量の増大に伴い増加する。
- (3) 真空式温水器及び無圧式温水器は、「ボイラー及び圧力容器安全規則」のボイラーに該当する。
- (4) 開放形冷却塔は、冷却水の一部を蒸発させて、冷却水の水温を下げる装置である。

【No. 25】 一般居室における配管の種別と保温主材との組合せのうち、**適当でないもの**はどれか。

- | (配管の種別)  | (保温主材)     |
|----------|------------|
| (1) 給水管  | グラスウール     |
| (2) 蒸気管  | ポリスチレンフォーム |
| (3) 冷温水管 | ロックウール     |
| (4) 冷媒管  | ポリエチレンフォーム |

【No. 26】 ダクト及びダクト付属品に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) たわみ継手は、送風機等からの振動がダクトに伝わることを防止するために使用する。
- (2) スパイラルダクトは、現場において任意の長さに切断して使用することができる。
- (3) 吸込口は、吸込気流に指向性があるので、羽根が可動なものを使用する。
- (4) 吹出口から水平に吹き出した気流は、冷房の場合は下降し、暖房の場合は上昇する。

【No. 27】 配管及び配管付属品に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 硬質塩化ビニル管の接合方式は、接着接合方式とゴムリング接合方式に大別される。
- (2) 仕切弁は、半開の状態で使用すると、弁体の背面に渦流を生じ、振動を起こす場合がある。
- (3) 銅管の接合方法には、ろう付接合、フレヤ継手を用いる方法等がある。
- (4) 鋳鉄管は、主に排水用として使用され、水道用としては使用されない。

【No. 28】 設計図書に記載される機器とその仕様の組合せのうち、**最も関係の少ないもの**はどれか。

- | (機器)           | (仕様) |
|----------------|------|
| (1) 冷却塔        | 騒音値  |
| (2) ユニット形空気調和機 | 機外静圧 |
| (3) ボイラー       | 定格出力 |
| (4) 揚水ポンプ      | 呼び番号 |

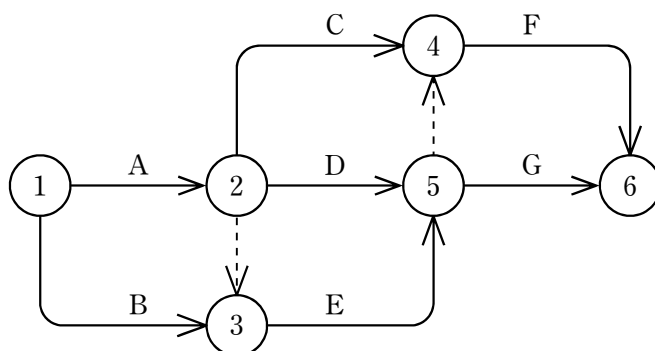
## 選 択 問 題

問題 No.29 から No.42 までの 14 問題のうちから 12 問題を選択し、解答してください。

【No. 29】 工事の申請・届出書類の名称と提出先の組合せのうち、**適当でないもの**はどれか。

- | (申請・届出書類の名称)              | (提出先)          |
|---------------------------|----------------|
| (1) 消防用設備等設置届出書           | 消防長又は消防署長      |
| (2) 確認申請に基づく工事完了届         | 建築主事又は指定確認検査機関 |
| (3) 危険物（指定数量以上）貯蔵所設置許可申請書 | 消防長又は消防署長      |
| (4) 道路使用許可申請書             | 警察署長           |

【No. 30】 図のネットワーク工程表に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。



- (1) 作業Fは、作業D及び作業Eに関係なく作業Cが完了すれば開始できる。
- (2) 作業C、作業D及び作業Eは、並行して行うことができる。
- (3) 作業Gは、作業D及び作業Eが完了すれば開始できる。
- (4) 作業Eは、作業A及び作業Bが完了しなければ開始できない。

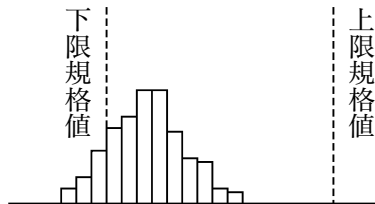
【No. 31】 工程表に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) ガントチャートは、各作業の現時点における進行状態が達成度により把握でき、作成も容易である。
- (2) バーチャートは、ガントチャートより、各作業の所要日数と施工日程が分かりやすい。
- (3) ガントチャートは、各作業の前後関係が分かりやすい。
- (4) バーチャートは、ネットワーク工程表に比べて簡単に作れるため、比較的小さな工事に適している。

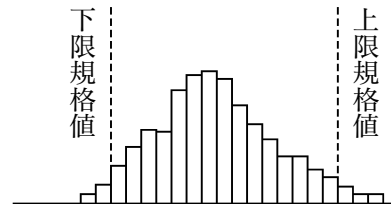
【No. 32】 品質管理に関する次の説明文に**対応するヒストグラム**はどれか。

データは規格値に納まっている。しかし、山の形状より、作業工程に異常があるか、又は、他の母集団のものが入っている可能性があると思われる。もう一度、データ全体を調べる必要がある。

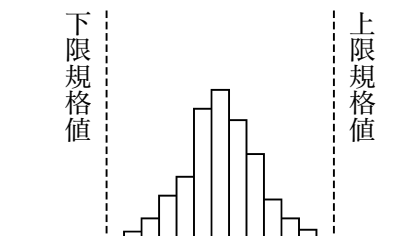
(1)



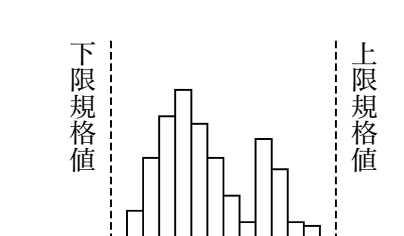
(2)



(3)



(4)



【No. 33】 足場の作業床に関する文中、 内に当てはまる、「労働安全衛生法」上に定められている数値の組合せとして、正しいものはどれか。

吊り足場の場合を除き、幅は  A cm 以上とし、床材間のすき間は、3 cm 以下とすること。

墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には、高さ  B cm 以上の丈夫な手すり等を設けること。

- |     | (A) | (B) |
|-----|-----|-----|
| (1) | 30  | 75  |
| (2) | 30  | 90  |
| (3) | 40  | 75  |
| (4) | 40  | 90  |

【No. 34】 衛生器具等の設置に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 防水層床に取り付ける床排水トラップは、つば無し形を使用する。
- (2) 施工中の器具は、汚損又は破損による被害を防護するため、適切な養生を行う。
- (3) 洗面器は、ブラケット又はバックハンガーを取り付け、所定の位置に固定する。
- (4) 水栓の吐水口端と水受け容器のあふれ縁との間には、十分な吐水口空間をとる。

【No. 35】 ファンコイルユニットの設置に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 天井吊り（露出）形の場合には、地震による横振れ防止を行う。
- (2) 床置形は、固定金物を用いて、壁又は床に堅固に取り付ける。
- (3) 天井吊り（露出）形の場合には、気流を室内全体に送るため、室の中央に設置する。
- (4) 天井隠ぺい形の場合には、保守及び点検が容易となるように、ファンコイルユニット近くに点検口を設ける。

【No. 36】 配管の施工に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 地中で給水管と排水管を交差させる場合には、給水管を排水管より上方に埋設する。
- (2) 通気管は、雨どいに接続してはならない。
- (3) パッケージ形空気調和機の屋内外ユニットの連絡配線は、直接冷媒配管に沿わせた後、その上から保温する。
- (4) 温水管は、膨張タンクに向かって上り<sup>こう</sup>勾配をつける。

【No. 37】 排水配管の施工に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 便所の床下の排水管は、<sup>こう</sup>勾配を考慮し、給水管に優先して配管を行う。
- (2) 冷水器の間接排水管の端部は、間接排水の水受け容器のあふれ縁より低い位置で開放する。
- (3) 排水の流れ方向が変化する箇所には、他の排水管を接続しない。
- (4) 屋外排水管の直管部においては、一定の間隔以内ごとに、排水<sup>ます</sup>枘を設ける。

【No. 38】 ダクトの施工に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 防火区画を貫通するダクトは、そのすき間をモルタル、ロックウール保温材等で埋める。
- (2) アングルフランジ工法ダクトでは、ダクト長辺が大きくなると、接合用フランジの最大間隔を長く取れる。
- (3) ダクトの割込み分岐の割込み比率は、風量比により決定される。
- (4) ダクトの断面を変化させるときは、急激な変化を避け、拡大部は 15 度以内、縮小部は 30 度以内とする。

【No. 39】 ダクト及びダクト付属品に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) スパイラルダクトは、保温を施さないダクトであっても、一般に、補強を必要としない。
- (2) 防火ダンパーのケーシング及び羽根は、厚さ 1.5 mm 以上の鉄板製である。
- (3) シーリングディフューザー形吹出口は、誘引作用が大きく、気流分布に優れている。
- (4) 風量調整ダンパーは、ダクトのエルボ直近に取り付けても、正確な風量調整を容易に行うことができる。

【No. 40】 塗装に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 合成樹脂調合ペイントは、一般的なダクトや配管の仕上げに使用される。
- (2) エッチングプライマーは、亜鉛めっきが施されていない鋼管や鋼材に使用される。
- (3) アルミニウム、ステンレス面は、一般に、塗装を行わない。
- (4) 塗装箇所周辺は、必要に応じて、あらかじめマスキングテープ等で養生する。

【No. 41】 渦巻ポンプの試運転調整項目のAからCの実施順序として、**適当なもの**はどれか。

A：瞬時運転して回転方向を確認する。

B：吐出弁を徐々に開いて、電流値と性能曲線より規定流量に調整する。

C：グランドからの水滴の滴下が適切か確認する。

- (1) A → B → C
- (2) A → C → B
- (3) C → A → B
- (4) C → B → A

【No. 42】 J I Sに規定されている配管の識別表示において、物質の種類と識別色の組合せのうち、**適当でないもの**はどれか。

- | (物質の種類) | (識別色) |
|---------|-------|
| (1) 油   | 白     |
| (2) 蒸 気 | 暗い赤   |
| (3) 水   | 青     |
| (4) ガ ス | うすい黄  |



## 選 択 問 題

問題 No.43 から No.52 までの 10 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

【No.43】 「労働安全衛生法」上、作業主任者の選任を必要とする作業はどれか。

- (1) 掘削面の高さが 3 m の地山の掘削作業
- (2) 小型ボイラーの据付け作業
- (3) 高さが 3 m の足場の組立、解体作業
- (4) 吊り上げ荷重が 2 トンの移動式クレーンの玉掛け作業

【No.44】 有給休暇に関する文中、 内に当てはまる、「労働基準法」上に定められている数値の組合せとして、正しいものはどれか。

使用者は、雇入れの日から起算して  A  箇月間継続勤務し、全労働日の 8 割以上出勤した労働者に対して、継続又は分割した  B  労働日の有給休暇を与えなければならない。

- |     | (A) | (B) |
|-----|-----|-----|
| (1) | 3   | 7   |
| (2) | 3   | 10  |
| (3) | 6   | 7   |
| (4) | 6   | 10  |

【No.45】 次の建築材料のうち、「建築基準法」上、不燃材料でないものはどれか。

- (1) モルタル
- (2) アルミニウム
- (3) ガラス
- (4) アスファルト

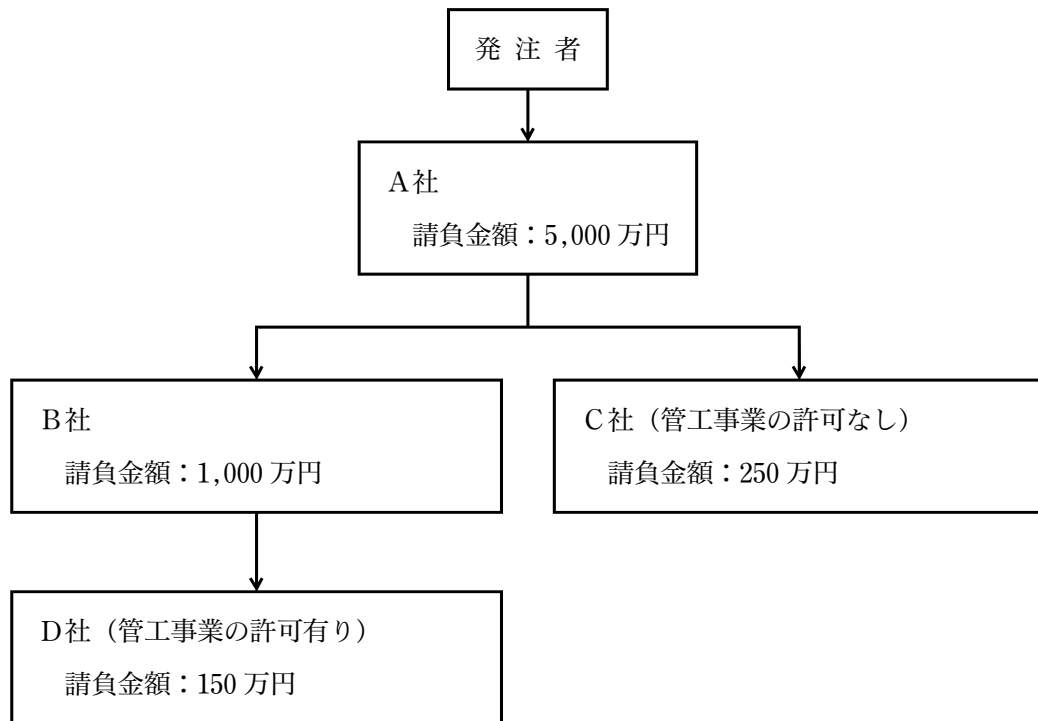
【No. 46】 建築物の居室における中央管理方式の空気調和設備の基準に関する記述のうち、「建築基準法」上に定められている数値として、**誤っているものはどれか。**

- (1) 温度は、17 度以上 28 度以下とする。
- (2) 相対湿度は、40% 以上 70% 以下とする。
- (3) 一酸化炭素の含有率は、 $\frac{1,000}{1,000,000}$  以下とする。
- (4) 浮遊粉じんの量は、空気 1 m<sup>3</sup> につき 0.15 mg 以下とする。

【No. 47】 管工事業の許可に関する記述のうち、「建設業法」上、**誤っているものはどれか。**

- (1) 下請負人としてのみ工事を施工する者は、管工事業の許可を受けなくてもよい。
- (2) 一般建設業の許可を受けている者は、発注者から直接請け負った工事を施工するために、下請代金の総額が所定の金額以上となる下請契約を締結することはできない。
- (3) 管工事業の許可は、5 年ごとに更新を受けなければ、その効力を失う。
- (4) 都道府県知事の許可を受けた者であっても、当該都道府県以外の都道府県の工事を請け負うことができる。

【No. 48】 図に示す施工体系の管工事において、「建設業法」上、主任技術者を置かなければならない社として、正しいものはどれか。



- (1) A社
- (2) A社及びB社
- (3) A社、B社及びC社
- (4) A社、B社及びD社

【No. 49】 危険物の種類と指定数量の組合せのうち、「消防法」上に定められている組合せとして、正しいものはどれか。

- |     | (危険物の種類) | (指定数量)  |
|-----|----------|---------|
| (1) | 灯油       | 500 L   |
| (2) | 灯油       | 1,000 L |
| (3) | 重油       | 500 L   |
| (4) | 重油       | 1,000 L |

【No. 50】 建設工事に関する資材のうち、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」上、再資源化等が必要とされる特定建設資材として定められていないものはどれか。

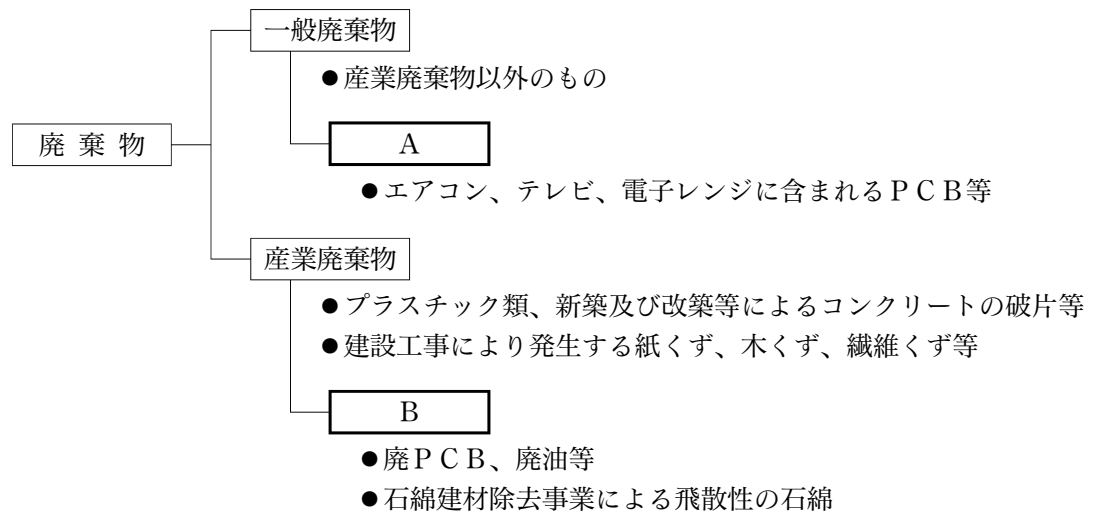
- (1) コンクリート
- (2) プラスチック
- (3) 木材
- (4) アスファルト・コンクリート

【No. 51】 液化石油ガスに関する文中、 内に当てはまる、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」上に定められている用語と数値の組合せとして、正しいものはどれか。

液化石油ガスとは、 A 、ブタン、プロピレン等の炭化水素を主成分とするガスを液化したものであり、充てん容器は、常に温度を  B  度以下に保たなければならない。

- |     | (A)  | (B) |
|-----|------|-----|
| (1) | プロパン | 40  |
| (2) | プロパン | 60  |
| (3) | メタン  | 40  |
| (4) | メタン  | 60  |

【No. 52】 廃棄物の分類に関する図中、    内に当てはまる用語の組合せとして、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上、正しいものはどれか。



(A)

(B)

- |               |      |           |
|---------------|------|-----------|
| (1) 特定有害一般廃棄物 | ———— | 特別管理産業廃棄物 |
| (2) 特定有害一般廃棄物 | ———— | 安定型産業廃棄物  |
| (3) 特別管理一般廃棄物 | ———— | 特別管理産業廃棄物 |
| (4) 特別管理一般廃棄物 | ———— | 安定型産業廃棄物  |